



2025年2月13日

各 位

会社名 ENECHANGE 株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 丸岡 智也  
(コード番号：4169 東証グロース)  
問合せ先 上級執行役員 CFO 篠原 雄一郎  
(TEL 03-6635-1021)

## 上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2023年12月期において、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の定める東証グロース市場の上場維持基準を充たしていなかったことから、下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画に関して進捗状況をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年3月期第4四半期決算の状況について

本日開示しました「2025年3月期 第4四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載のとおり、当社は、2025年3月期第4四半期において、売上高は5,180百万円（前年同期間累計は4,379百万円）、営業損失2,914百万円（前年同期間累計は営業損失2,125百万円）、経常損失2,537百万円（前年同期間累計は経常損失2,404百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,356百万円（前年同期間累計は純損失4,985百万円）となりました。なお、2025年3月期第4四半期連結累計期間末時点では、純資産の額は▲929百万円（前期末は▲1,479百万円）となりました。

#### 2. 純資産の額に係る上場維持基準への適合に向けた基本方針について

当社は、2024年9月2日に公表した「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載のとおり、下記3（1）～（3）の項目を主軸とした取り組みを実施しております。今後、詳細が決定次第、速やかにお知らせいたします。

#### 3. 純資産の額に係る上場維持基準への適合に向けた取り組みの進捗状況について

##### （1）コスト効率化による収益性の改善について

当社は、全社的に収益性改善を目的としたコスト削減を実施するために、コスト構造の見直しを行う方針であり、各セグメントのコスト精査を随時進めております。現在当該施策を反映した計画を策定中で、開示すべき事項を決定した場合には速やかに開示いたします。

##### （2）EV充電事業に係るブリッジローン組成及び減損損失の解消について

当社は、2024年9月27日付「EV充電事業に係るコミットメントライン契約締結に関するお知らせ」及び2024年12月23日付「（開示事項の経過）資金の借入枠からの借入実行に関するお知らせ」に記載のとおり、関係金融機関2行よりEV充電事業に係るブリッジローンを計49億円確保し、その後、増額契約を締結したことにより計57億円を確保いたしました。なお、再発防止策の遂行状況及び当該ブリッジローンによる資金調達を実現したこと等により、EV充電事業の事業計画を見直した上でEV充電事業に係る固定資産の減損損失の解消に向けて監査法人アヴァンティアと協議を進めてまいりました。その結果、2025年3月期第3四半期以降に関してはEV充電事業に係る固定資産の減損損失を計上しないこととなりました。

##### （3）財務基盤の強化策に関して

当社は、2025年1月24日公表の「EV充電事業の合弁会社化に向けた子会社設立、当社及び子会社間の吸収分割、当社及び中部電力ミライズ株式会社との株式譲渡契約等の締結並びに子会社（孫会社）の異動に関するお知らせ」にて公表しました通り、当社は、新たに当社の完全子会社（以下「新会社」といいます。）

を設立し、当社が運営する EV 充電サービス「EV 充電エネチェンジ」に関する事業を、新会社に対して吸収分割の方法により承継させた上で、新会社の発行済株式のうち 51.0%を中部電力ミライズ株式会社（以下「中部電力ミライズ」といいます。）に譲渡し、更に株式譲渡の実行後に当社及び中部電力ミライズが、その持株比率（当社：49.0%、中部電力ミライズ：51.0%）に応じて新会社の増資を引き受けることにより、中部電力ミライズとの合弁会社となる新会社において EV 充電事業を運営していくことを決定いたしました。本件による当社連結純資産改善額は約 30 億円となる見込みです。

また、2025 年 2 月 3 日公表の「伊藤忠エネクス株式会社との資本業務提携契約の締結、及び第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」のとおり、当社は、伊藤忠エネクス株式会社（以下「伊藤忠エネクス」といいます。）との間で資本業務提携を行うことを目的に資本業務提携契約を締結すること、及び、伊藤忠エネクスに対する第三者割当による新株式の発行を行うことを決定いたしました。本件による当社連結純資産は約 28 億円改善する見込みです。詳しくは、本日付「2025 年 3 月期第 4 四半期 決算説明資料及び事業計画及び成長可能性に関する事項（100 日プランの総括と今後の成長戦略）」21 ページから 22 ページをご参照下さい。

以上から、当社は、2025 年 3 月末時点での純資産は 50 億円を超える見込みとなることから、上場維持基準（純資産基準）へ適合する見通しであり、引き続き業績の向上に努めるとともに、株主や投資家の皆様とのエンゲージメントを強化し、株式市場における当社の評価向上を目指してまいります。

以 上